

令和8年度 江戸川区立大杉小学校 人権教育 年間指導計画（第1学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『人権教育プログラム（学校教育編）』p14 人権教育の年間指導計画（例））を必ず参照し作成すること

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月											
学級経営	学級目標に人権教育の視点を位置付ける。		教師が児童のよいところを紹介する。		児童相互で友達のよいところを紹介し合う。				他の人の大切さを認めることを中心にした指導を行う。													
各教科・読書科	国語科 「なんて言おうかな」 伝え合うために必要な事柄を選べるように指導する。また、丁寧な言葉や相手に応じて声の大きさや速さを工夫できるように指導する。		図工科 「いろいろならべて」友達と協力して作品作りに取り組み、自他の良さを見つけよう指導する。		国語科 「こんなことがあったよ」 感想を伝えあい、自分の文章の良いところを見つけることができるようにする。		体育科 「マットを使った運動遊び」「跳び箱を使った運動遊び」 児童のよいところを紹介し、友達の良さを認められるように指導する。		国語科 「くじらぐも」 場面の様子や気持ち想像して読み、思考力や想像力を養う。		国語科 「しらせたいな、見せたいな」 身近な出来事を書き、友達と読み合うことで、よさを認め合えるようにする。		音楽科 「ききあってあわせよう」 友達の歌、演奏を聴くことを通して、協力しようとする態度を育てる。		国語科 「どうぶつ赤ちゃん」 動物の成長の様子を知り、動物への興味・関心をもてるようにする。動物の成長の違いについて他の人の意見を聞き合う。		国語科 「これは、なんででしょう」 二人組になり、二人でクイズを作る中で、お互いに話し合い、他者の意見を大切にしよう指導する。		体育科 「ボールゲーム」 チームで相談したり、友達の良さを認めたりして活動することで、協力しようとする態度を育てる。			
特別の教科 道徳	礼儀 気持ちの良い挨拶、言葉遣いを心掛けようとする。		規則尊重 時間を守り、みんなが使う物を大切にしようとする。		親切 身近な人に温かい心で接しようとする。		勤労 働くことの良さを感じて、みんなの為に働こうとする。		尊敬・感謝 日頃世話になっている人に感謝しようとする。		友情 友達の気持ちを考え、誰とも仲良く助け合っていこうとする。		家族愛 父母を敬愛し、進んで家の手伝いをしようとする。		正直誠実・明朗 うそをついたりごまかしたりしないで、素直に伸び伸び生活しようとする。		勇氣 よいと思うことは、進んで行おうとする。		生命尊重 生きている喜びを実感、生命を大切にする		勤勉努力 自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行おうとする。	
総合的な学習の時間	あさがおをそだてよう 自分であさがおを育てることを通して、草花への関心を持ち、生命を大切にしようとする。				遊びの広場 2年生と交流を深める。		生活科見学 2年生との交流を通し、尊重する態度を育てる。		きれいにさいてね チューリップを育てることを通して、草花への関心を持ち、生命を大切にしようとする。				1年間を振り返ろう 1年間を振り返り、自分や友達の頑張りが活躍を認め合う。									
特別活動	1年生スタート 学級目標や自分の目標を考えさせる。						係を決めよう 係活動を通して、友達と協力し合って自分のやるべきことをしっかりと行おうとする態度を育てる。				人権標語の作成 いじめ防止をテーマに作成し、いじめのない学級づくりに向けての意欲を高める。		もうすぐきらきら2年生 学校生活を振り返り、自己の成長を確認し、進級に向けて新たな目標を考える。									

人権週間

その他			運動会 協力して演技等を行い、互いを信頼する気持ちを育てる。				音楽会 鑑賞や発表を通じて、自分や友達の良さを認め合う。	奉仕活動 協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を養う。		6年生を送る会 6年生への感謝の気持ちを表す。	
	読み聞かせ （保護者と交流）読み聞かせにより豊かな情操を育てる。										

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題）
⇔=関連的な指導
▭=多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。